

身勝手な行動が招いた感電負傷事故

電気と九州 (R2年9月号掲載)

はじめに

危険予知 (KY) 活動は、作業現場で起こりうる労働災害を、未然に防ぐために欠かせないものですが、チームの一人ひとりが自分のこととしてとらえ、責任感を持って現場に臨まなければ、その効果は期待できません。

今回は、高圧電線への保護シート設置やKY活動が行われていたにも係わらず、被災者の身勝手な行動が招いた公衆感電負傷事故について紹介します。

事故の概要

被災者は、外壁補修工事の防水工として、外壁防水箇所のシーリング打替え作業に従事していた。

毎朝のKYミーティング時に、立入禁止を指示されていた区分開閉器 (PAS) 付近の高圧電線の箇所、シーリング打替え作業を行っていたところ、PAS 2 次側電線と引込ケーブルとの接続点付近に接触し、感電負傷した。

事故の状況

事故が発生した施設は企業の研修施設で、老朽化した外壁の補修工事が行われていた。

当該施設から約50km離れた製造工場に選任された主任技術者が当該施設の主任技術者を兼任し、同施設管理人が連絡責任者に選任され、主任技術者との連絡業務を行っていた。

建物外周には作業用足場が組み立てられ、3階外壁に設置されたPASの高圧電線には、1次側・2次側共に絶縁保護シートが設置され、PAS付近の足場の北面と東面には「高圧線危険」「高圧線さわるな」などの警戒標識を掲示して作業を行っていた。

毎朝の朝礼で、KYミーティングを実施して、「高圧電線の所には立入禁止」及び高圧電線の近辺を作業する時は「必ず現場代理人に報告すること、現場代理人が不都合な時は、その箇所での作

業は中止すること」を口頭で指示していた。

事故当日の午前中、被災者が建物東面2階のサッシ廻りと打継目地のシーリング打替え作業を行っており、立入禁止を指示されたPAS 2 次側付近にて中腰の体勢で行っていたところ、PAS 2 次側と引込ケーブルの接続点付近に接触し、感電した。

事故当時、被災者同僚が被災者の下段、現場代理人が足場外にて現場管理を行い、同施設管理人が工事に立ち会っていた。

被災者は、感電後意識を失いその場で倒れたが、暫くして自力で起き上がり、足場を降り、現場代理人へ感電したことを報告した。

事故後、すべての工事を中断し、被災者を救急病院へ搬送し、入院、加療となった。

同施設管理人より事故発生の連絡を受け急行した主任技術者が、現場の状況を確認したところ、PAS 2 次側と引込ケーブル接続部の保護シートが焦げており、剥がしてみたところ、絶縁用ブチルゴムテープが焦げて一部導体が露出していたが、損傷は見受けられなかった。

被災者の服装は、半袖、手首から肘上までのアームカバーを着用しており、汗をかいた状態であった。

事故原因 (被災者の過失)

- ・被災者は、高圧電線には保護シートが巻いてあり、触れなければ大丈夫と判断し、立入禁止を指示された場所に立入り、高圧電線には触れてはいないと主張しているが、当人の記憶では20cm位まで近づき、作業を行った。
- ・被災者は、汗をかいて電気が流れやすい状況にあり、作業に集中していたこともあって、PASと引込ケーブルの接続部分の絶縁強度が弱い箇所に接触したことにより、感電事故が発生した。

事故の再発防止策

- ・ 高圧電線や高圧機器に作業者が近接する作業については、停電した状態で作業を行う。
- ・ 高圧機器に近接するような作業がある場合は、危険箇所に立ち入ることがないように、立入禁止対策を施す。
- ・ 主任技術者として、工事工程で感電が発生する可能性を検討し、安全第一に基づき対策を提案し、必要に応じて立会い、監督を行う。
- ・ 施設設置者として、同様な工事については、事故防止のために打合せ等を実施し安全第一で取り組む。

また、工事業者に対しても高電圧に対する必要な知識や経験があるか確認し、安全第一を考えた工事が行われるかの確認と指導を行う。

おわりに

作業に掛ける手間や労力、時間やコストを省くことを優先した結果、安全に必要な確認作業を怠ることや、仕事や作業への慣れや油断から「これぐらいは大丈夫だろう」と考えることが労働災害の発生に繋がります。

KY活動は、その作業に従事する一人ひとりが主役であり、災害の発生を防止する強い使命感がなければ、その目的を達成することはできません。ひとりでも身勝手な行動をとることがないように配慮が必要です。

今回ご紹介した事例を教訓として、感電死傷事故の未然防止について、取り組みを進めていただくようお願いします。



足場の設置状況



警戒標識



事故発生箇所

※当部ホームページの電力の保安では、感電死傷事故をはじめ電気関係事故情報やパンフレット「電気の安全について」などを掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

電気事故関係等を掲載している
九州産業保安監督部のホームページアドレス
<https://www.safety-kyushu.meti.go.jp/denki/jiko.htm>